

KENWOOD

デュアルサイズ CD/MDレシーバー

DPX-630M

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

MDLP

Help

? Operation

? MD Group

? Word

Help

Functional Operation

ソースセレクション/時刻調整

CD/MD/Changer モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

DSPコントロール

イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

EZ Operation

オプション

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

CDとMDの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

MD、CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた12

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation ? MD Group ? Word

Help? Operation40

Help? MD Group48

Help? Word50

取り付け方法など

付 録

取り付け時のご注意52

接続54

取り付け56

保証とアフターサービス58

仕様一覧59

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセレクション14
ソース選択

時刻調整15
時刻合わせ

CD/MD/Changer モード16

トラックサーチ
ディスク/グループサーチ
マニュアルサーチ
トラック/ディスク/グループ/リピートプレイ
ランダムプレイ
マガジンランダムプレイ
グループランダムプレイ
ポーズ
スキャンプレイ
グループセレクト
テキストスクロール

TUNER モード20

バンド切り替え
チューニング
マニュアルメモリー
オートメモリー
プリセットチューニング

Name Set22

DNPS (ディスクネームプリセット) /
SNPS (ステーションネームプリセット)
AUXネームセレクト

ディスプレイコントロール24

ディスプレイ表示切り替え
アナライザーの切り替え
イルミカラーの選択
操作パネル角度調節

DSP コントロール27

DSPの選択

イコライザーコントロール28
 イコライザーカーブの選択
 イコライザーカーブの調節
 イコライザープリセット
 イコライザープリセットコール

オーディオコントロール30
 オーディオコントロール
 クロスオーバープリセット
 クロスオーバープリセットコール
 交通情報音量設定

Function34
 ファンクションセット
 セキュリティコード

ソースセレクション/時刻調整
 CD/MD/Changer モード
 TUNER モード
 Name Set
 ディスプレイコントロール
 DSPコントロール
 イコライザーコントロール
 オーディオコントロール
 Function

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

TV コントロール38
 チャンネル選択
 バンド/ビデオ切り替え
 マニュアルメモリー
 プリセットコール
 音声多重切り替え

オプション

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスिंगコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品の使いかたを大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

- ? Operation 思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? MD Group グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。
- ? Word 取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した【付録】があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDまたはCDをプレイする操作を表しています。
なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



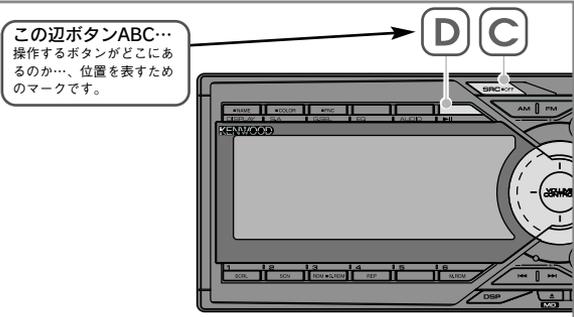
1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。

通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押し秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

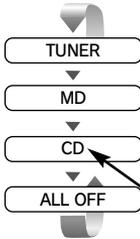


ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わりま



FM/AM放送を受信

MDをプレイ

CDをプレイ

電源をオンのままで機

ディスプレイ表示
スクロール
ボタンを押すたびに切り
替わるモードや表示を表
します。

内容の説明

表示される文字または内容

交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリー

1 交通情報モードにします



ディスプレイ表示
このディスプレイが表示
されるまでボタンを
押すことを表します。

“TRAFFIC” と表示されるまで押し続けます。

2

3

音次
交
1

ソースセレクション/時刻調整

CD/MD/Changer モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

DSPコントロール

イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

オプション

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

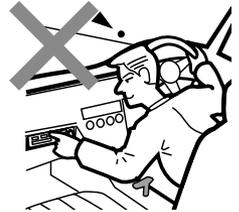
Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

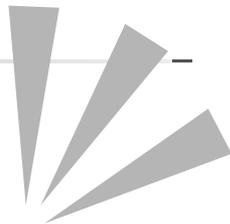
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れしないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れしないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、TVモニターやナビゲーションの機種はカタログをご覧ください。なお、ナビゲーションシステム内のKSFのプレイは、ディスクチェンジャーのコントロールと同様の操作で行えます。

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記憶されているDNPS可能枚数とは関係なく、本機とCDチェンジャーのCDを合計で50枚まで記憶することができます。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

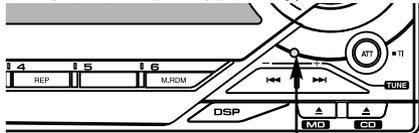
別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」(54ページ)およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help?」(40ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- MDやCDが取り出せない。
- MDやCDを正しく入れ直してもボタンやインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならない。

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、操作パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたとき交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

温度について

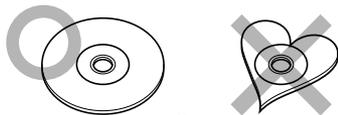
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

本機でプレイ可能なディスクは  だけです。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

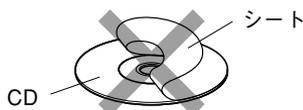
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると誤動作することがあります。

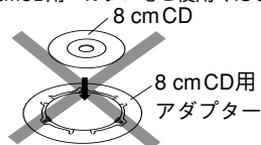
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

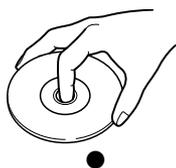
本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧ください。購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

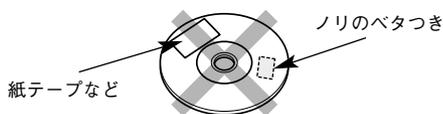
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も読
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テ
ープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



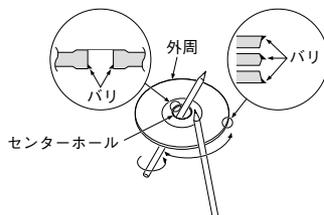
CDの保存

直射日光があたる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

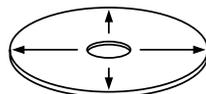
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に“バリ”がないことを確認してください。
“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入でき
ななかったり音飛びの原因になります。“バリ”があ
るときは、ボールペンなどで取り除いてから使用
してください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ
て軽くふき取ってください。

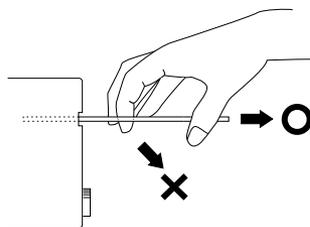
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで
ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出し
てください。

下側に強く押しながらかき出すとCDの記録面に傷
を付ける原因となります。

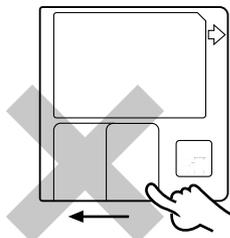


MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

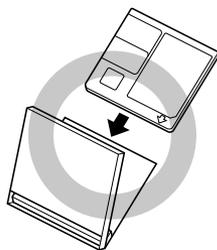
MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



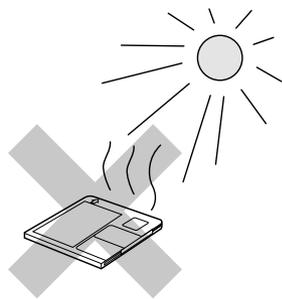
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。

 **電源をオン/オフします。**
 押すと電源がオンになります。
 1秒以上押すと、電源がオフになります。

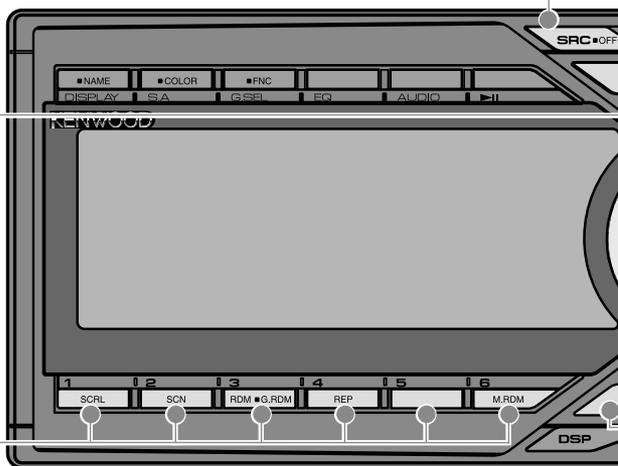
 **MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。**
 ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFに切り替わります。
 MDが入っているときは  インジケーターが点灯し、CDが入っているときは  インジケーターが点灯します。
 (ソース選択14ページ)

 **AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。**

 **前のMDグループを選びます。**

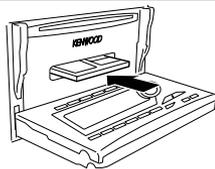
 **音量を下げます。**
 **音量を上げます。**

 **メモリーされている放送局を選びます。**
 2秒以上押すと、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



 **MDをプレイします。**
 を押し、操作パネルをスライドさせ、プレイするMDを差し込みます。
 MDが引き込まれ、パネルが閉まります。

 **MDを取り出すときは…**
 を押します。
 操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。
 もう一度  を押すと、パネルは閉じます。



- 本機ではMDLPで録音されたMDも差し込めばプレイできます。プレイ中のMDがLP2モードのときは“MDLP 2”インジケーター、LP4モードのときは“MDLP 4”インジケーターが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しているため、グループ登録済みMDの検索機能を使って、聴きたい曲をすばやく探すことができます。詳しくは、「Help? Word」の「MD Group」(51ページ)をご覧ください。



CDの操作



チューナーの操作



共通の操作



- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。
- ディスクイジェクト状態（パネルが水平にスライドした状態）で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量調整、ソース選択などだけです。
- CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで を押し続けてください。



FM放送のバンド (FM1/FM2)
を切り替えます。



次のMDグループを選びます。



音量を素早く下げます。

もう一度押すと元の音量に戻ります。
アッテネーターが入っているときは、
ATTインジケーターが点滅します。



1秒以上押すと、交通情報を
受信します。

もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



プレイする曲を選びます。



受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1
ステップずつ変えたり、メモリーしている放送
局を順に受信するようにもできます。(34ページ)



交通情報の周波数 (1620KHz /
1629KHz / 522KHz) を切り替えます。



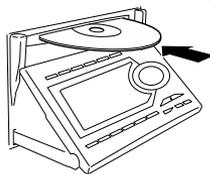
CDをプレイします。

を押し、操作パネルをスライドさせ、
プレイするCDを差し込みます。
CDが引き込まれ、パネルが閉まります。



CDを取り出すときは…

を押します。
操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。
もう一度 を押すと、パネルは閉じます。



ソースセレクション/時刻調整

CD/MD/Changer モード

TUNER モード

Name Set

ディスプレイコントロール

DSPコントロール

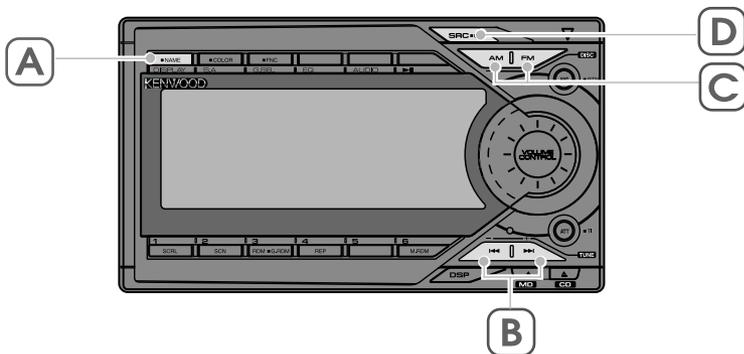
イコライザーコントロール

オーディオコントロール

Function

オプション

ソースセレクション /



ソース選択

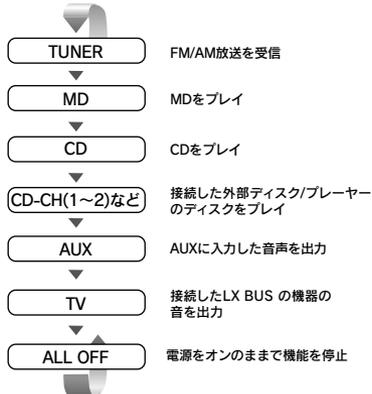
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のようにに選択できます。
KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合：
“AUX”表示を選ぶ。
CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合：
“DISC-CH”表示を選ぶ。
(確定後に“AUX Mode”表示になります)
- “AUX”表示は、「AUXネームセレクト」(23ページ)で替えることができます。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
“CD-CH(1~2)” :CDチェンジャーまたは
HDX-700 (別売品)などの
音楽ファイル (KSF) ソース
“MD-CH(1~2)” :MDチェンジャー

プレイするソースを選びます。
また、時計表示の時刻合わせをします。

時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

1 ALL OFFモードにします



2 時刻合わせを開始します



①表示が点滅するまで押し続けます。

3 時刻を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる

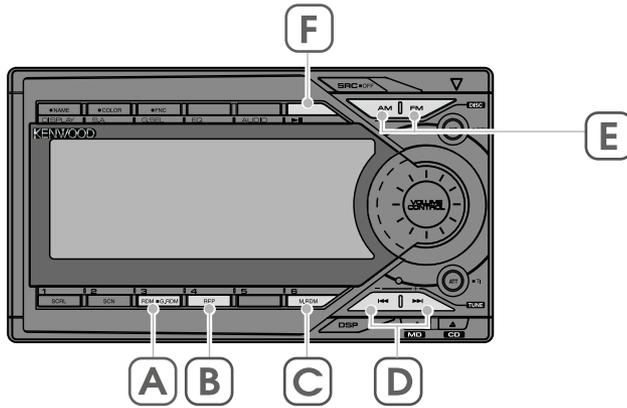


4 時刻合わせを終了します



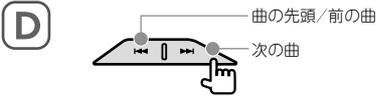
00秒からカウントがスタートします。

CD/MD/Changerモード



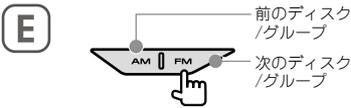
トラックサーチ

プレイする曲を選びます。



ディスク/グループサーチ

(グループ登録済みMD、ディスクチェンジャーのみ)
プレイするディスク、グループを選びます。



マニュアルサーチ

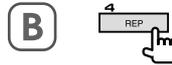
現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

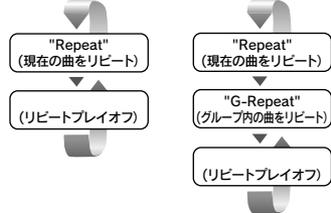
トラック/ディスク/グループ/リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク、グループ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次のように切り替わります。
リピートプレイがオンのときはREPまたはD.REPインジケーターが点灯します。

CD/MDプレーヤー時 グループ登録済みMD時



CD/MDチェンジャー時



CD/MDや別売品のディスクチェンジャー、HDX-700の音楽ファイル（KSF）ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDとMDの聴き方はEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

ランダムプレイ

現在のディスク、全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフします。ランダムプレイがオンのときはRDMインジケータが点灯します。

● 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフします。マガジンランダムプレイがオンのときはM.RDMインジケータが点灯します。

グループランダムプレイ

(グループ登録済みMDのみ)

グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。



“G-Random”と表示されるまで押し続けます。グループランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

グループランダムプレイをオフにする



RDMインジケータが消えます。

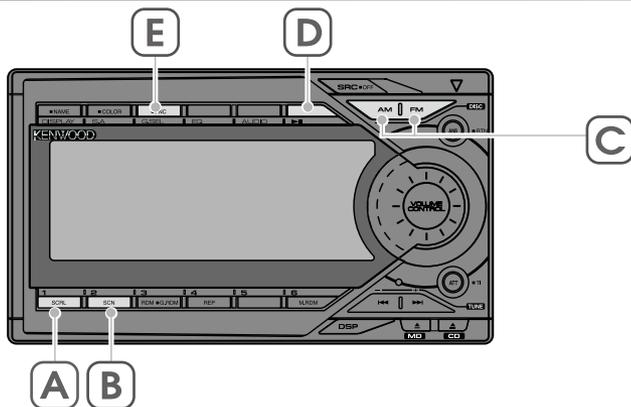
ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します



もう一度押すとプレイを再開します。

CD/MD/Changer モード



● スキャンプレイ

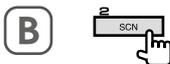
ディスク、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 スキャンプレイを開始します



スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

2 聴きたい曲のところ...



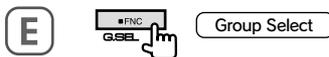
その曲からプレイされます。

- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

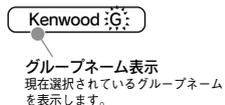
● グループセレクト(グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループ名を表示してグループを選択します。

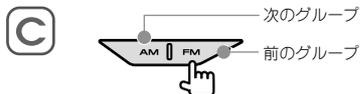
1 グループセレクトモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。グループセレクト中は“G”表示が点滅しています。



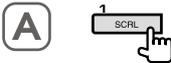
2 グループを選びます



押すたびに、次のグループ/前のグループへと移動します。

- グループセレクト時の曲の移動のしかたは、グループサーチとは異なります。くわしくは、「Help? MD Group」(48ページ)を参照してください。

グループネームをスクロールするときは…



3 聴きたい曲が入っているグループで…



グループ選択モードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…



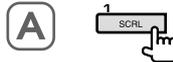
テキストスクロール

ディスプレイに表示されるテキストをスクロール設定が「Off」のときにテキストをスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(24ページ)を参照してテキスト表示にします。

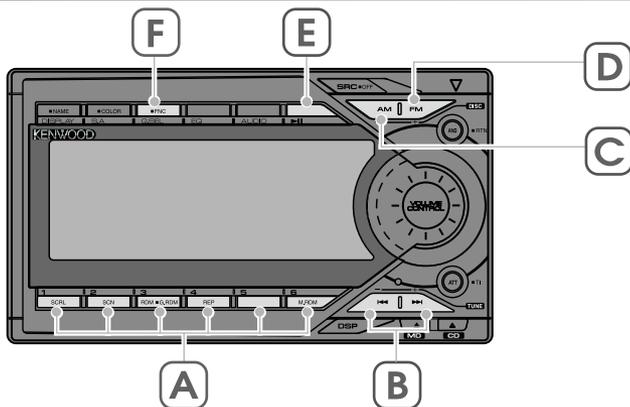
2 スクロールします



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール設定を「On」にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール選択の方法は、「ファンクションセット」(34ページ)を参照してください。
- スクロールが可能なテキスト表示については、「Help ?Word」の「AT.SCRL」(50ページ)を参照してください。

TUNER モード



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“AUTO 1”のとき (AUTO 1インジケータが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“AUTO 2”のとき (AUTO 2インジケータが点灯しています) メモリーされている放送局を番号順に受信します。

チューニングモードが“Manual”のとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(34ページ)で変更ができます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

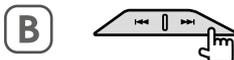
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



F1- 83.0 MHz

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴き方はEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします



“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

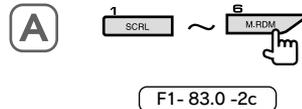
プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

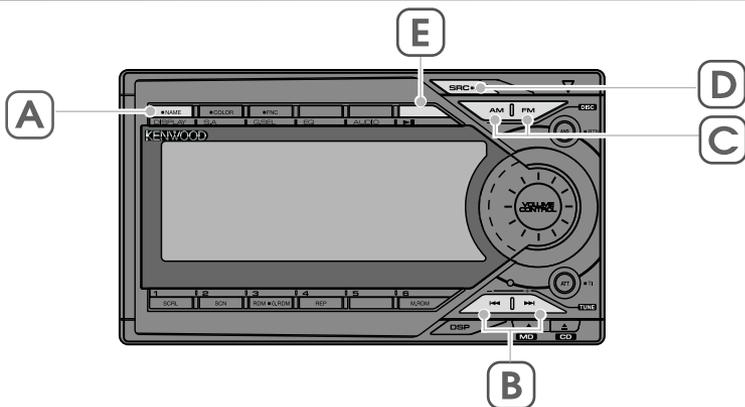
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

Name Set



DNPS (ディスクネームプリセット) /
SNPS (ステーションネームプリセット)
CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

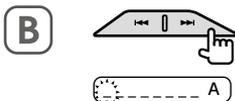
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイは解除しておいてください。
- MDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 ネームセットモードにします



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

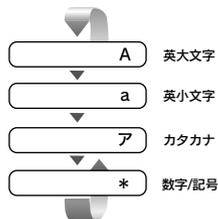
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



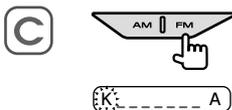
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 ネームセットモードを終了します



- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- DNPSは本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーの合計で50枚まで登録できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。

FM/AM放送や本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



「AUXネームセレクト」は、別売品のKCA-S210Aを使用したAUXソースに設定できる機能です。別売品のCA-C1AXを使用したAUXソースには設定できません。

2 AUXネームセレクトを開始します

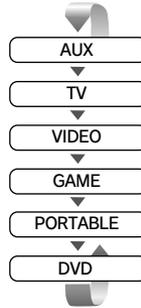


“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

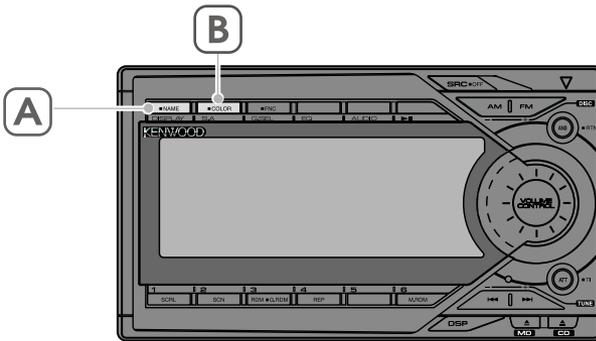


4 AUXネームセレクトを終了します



- 10秒間以上、なにも操作しないとその時点で名前が確定されます。
- バッテリーから外すと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

ディスプレイコントロール



ディスプレイ表示切り替え

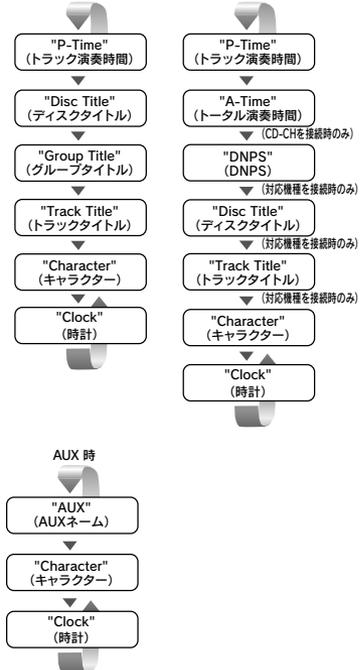
ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



グループ登録済みMDブレイ時 CD-CH/MD-CHブレイ時



- DNPS : ディスクネームプリセット (22ページ)
 - SNPS : ステーションネームプリセット (22ページ)
- なお、CDブレイ時やCD-CHブレイ時のディスクタイトルはディスクテキスト、トラックタイトルはトラックテキストが表示されます。

ディスプレイの表示の設定をします。

アナライザーの切り替え

スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



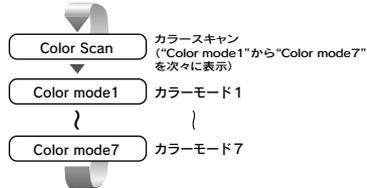
- ALL OFF中およびTI受信中はアナライザーの切り替えはできません。

イルミカラーの選択

ディスプレイのイルミネーション色を設定します。

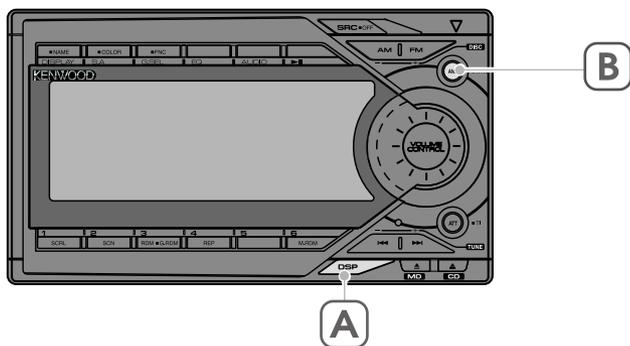


1秒以上押すたびに次の順で切り替わります。



- 「アナライザーの切り替え」(前記)の設定により選択時のイルミネーション色は異なります。

ディスプレイコントロール /



● 操作パネル角度調節

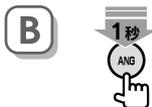
操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします。



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します。



- 電源をオフにするとパネルは数秒後に元の状態になります。再び電源をオンにすると、調節した角度になります。
- パネルスライド中は、FM/AM放送の音は出力されません。

操作パネルの角度調節をします。
また、DSP（デジタルシグナルプロセッサ）の選択ができます。

DSPの選択

DSP機能を使用して、疑似音場効果呼び出します。

1 DSPコントロールモードにします



DSPコントロールモード中は**DSPインジケータ**が点滅します。

- DSPの設定はALL OFFまたは交通情報以外のモード中に設定できます。
- バランス/フェーダーを中央位置以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムのオン中は、バランス/フェーダーを中央位置にして使用してください。
- 交通情報モード中は、自動的にDSP機能が解除（バイパス）されます。

2 サウンドフィールドの選択をします

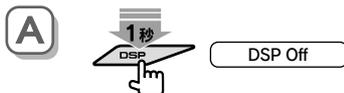


押すたびに次の順で切り替わります。



10秒間以上、なにも操作しないと、DSPコントロールモードが終了します。

DSPシステムをオフにするには…



“DSP Off”と表示するまで、押し続けます。
DSP効果が解除されます。

イコライザーカーブの設定や調節をします。

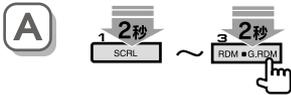
イコライザープリセット

イコライザーカーブを3種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します

前ページを参照してイコライザーカーブの調節をします。

2 メモリーするボタン (1~3のいずれか) を選びます



- EQ MEM 1 -

“EQ MEM ○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

- 手順2または手順3の操作をする前に、イコライザーコントロールモードが解除された場合は、再び (EQ) を押してイコライザーコントロールモードにしてから手順2の操作をしてください。

3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

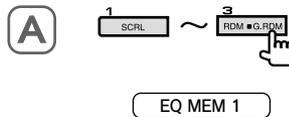
イコライザープリセットコール

プリセットしたイコライザーカーブを呼び出します。

1 イコライザーコントロールモードにします



2 メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます



EQ MEM 1

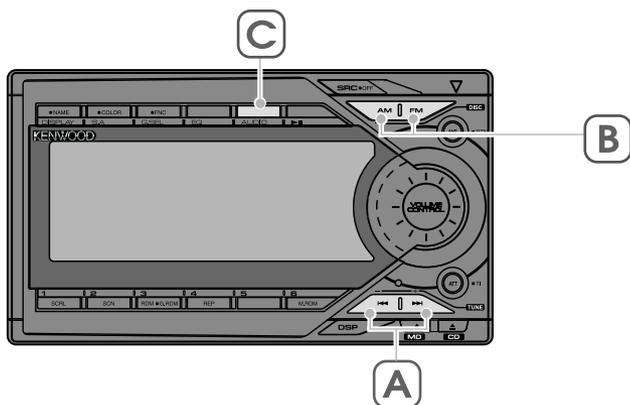
メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

オーディオコントロール



オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオ調整モードにします



Audio CTRL

- オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

2 調整モードを選択します

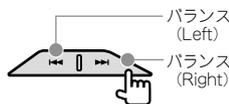
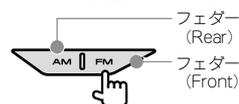


押すたびに、バランス/フェダー調整モード、クロスオーバー調整モード、アンプコントロール調整モードが切り替わります。

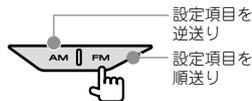
- バランス/フェダー調整モード、クロスオーバー調整モード、およびアンプコントロール調整モードの設定項目と設定値は次ページを参照してください。

3 設定項目と値を選択します

バランス/フェダー調整モード中は



その他の調整モード中は



設定できる項目と値は次のとおりです。

音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。
また、交通情報を受信時の音量を設定します。

バランス/フェダー調整中の設定項目

設定項目	設定値
B- (左右の音量バランス)	L15~00~R15 (左) (右)
F- (前後の音量バランス)	R15~00~F15 (後) (前)

クロスオーバー調整中の設定項目

設定項目	設定値
HPF-F* (フロント低音カット)	THRU/40/60/80/100 /120/150/180/220 (Hz)
HPF-R* (リア低音カット)	THRU/40/60/80/100 /120/150/180/220 (Hz)
LPF* (ノンフェダー高音カット)	50/80/120/THRU (Hz)
N-F (ノンフェダープリアウト 出力レベル)	--- ~00 ~+10
N-F Phase (ノンフェダー出力位相)	NOR (正相) /REV (逆相)

アンプコントロール調整中の設定項目

設定項目	設定値
Amp Bass* (アンプ低音出力レベル)	FLT/+ 6 /+12/+18
Amp Freq* (アンプ低音周波数レベル)	NML / Low

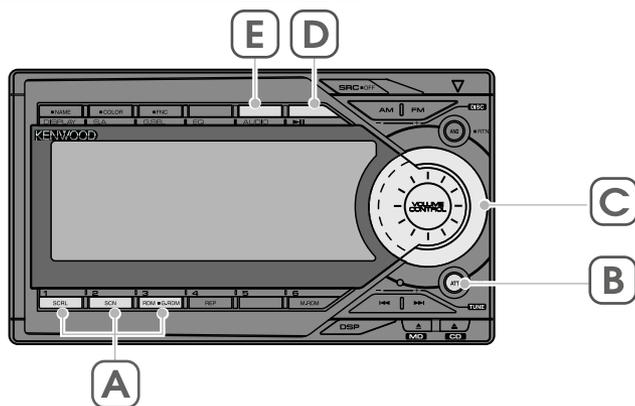
- *マークが付いた項目の詳細機能については、「Help? Word」(50ページ)をご覧ください。
- “LPF”、“N-F”、および“N-F Phase”は「ファンクションセット」(34ページ)の“Preout”項目が“N-F”に設定されているときに設定できます。
- “Amp Bass”と“Amp Freq”で本機からコントロール可能なアンプ機種についてはカタログをご覧ください。
- 太字は初期設定値です。

4 オーディオ調整モードを終了します



1秒以上押し続けると、オーディオ調整モードが終了します。

オーディオコントロール



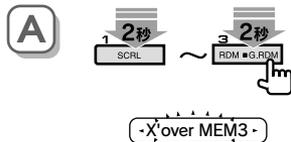
● クロスオーバープリセット

クロスオーバーの設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 クロスオーバーを設定します

「オーディオコントロール」(30ページ)の手順1~3を参照して、クロスオーバーの調整をします。

2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“X'over MEM○”表示が1回点滅するまで押し続けます。

3 オーディオ調整モードを終了します



1秒以上押し続けると、オーディオ調整モードが終了します。

- クロスオーバーモードの設定項目のうち、“N-F”項目の設定値はメモリーされません。

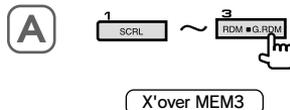
● クロスオーバープリセットコール

プリセットしたクロスオーバー設定を呼び出します。

1 クロスオーバー調整モードにします

「オーディオコントロール」(30ページ)の手順1~2を参照して、クロスオーバー調整モードにします。

2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



メモリーされているクロスオーバーの設定値が呼び出されます。

3 オーディオ調整モードを終了します



1秒以上押し続けると、オーディオ調整モードが終了します。

交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



“TRAFFIC” と表示されるまで押し続けます。

2 設定したい音量にします

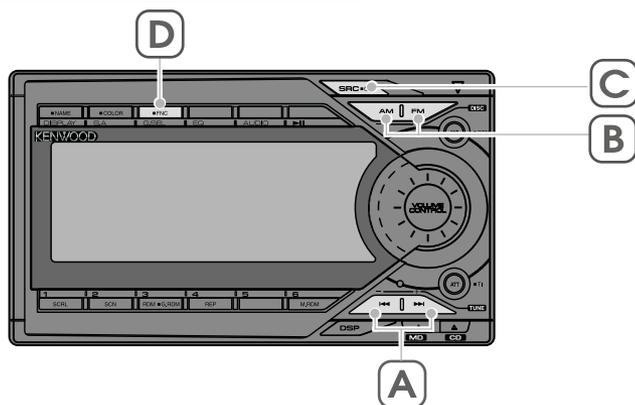


3 音量をメモリーします



音量表示が1回減するまで押し続けます。
次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。
交通情報モードを終了したいときは、**ATT**を1秒以上押します。

Function



ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定したい項目があるモードにします



2 ファンクションセットモードにします



“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

- *マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help? Word」(50ページ)をご覧ください。
- 太字は初期設定値です。

ALL OFF モード中

設定項目	設定値
BEEP* (ビープ音)	On/Off
Preout* (プリアウト出力設定)	REAR/N-F
MD Group* (グループ管理機能設定)	On/Off
Opening* (電源オン時のデモン ストレーション表示)	On/Off
CODE STBY* (セキュリティーコードの 登録モード)	登録の方法は 36ページを ご覧ください。
NAV. ATT* (ナビ音声ガイド時の ミュート設定)	On/Off
AMP MUTE* (内蔵アンプの出力停止設定)	On/Off
S.I.* (盗難防止用警告ランプ設定)	On/Off

MD/CD/Changerモード中

設定項目	設定値
AT.SCR L* (タイトル/テキスト オートスクロール)	On/Off

- MDプレイ時とCDプレイ時のそれぞれで設定が可能です。

本機のいろいろな機能を設定します。

TUNERモード中

設定項目	設定値
Seek* (チューニングモード)	AUTO 1/ AUTO 2/ Manual
MONO* (FM放送モノラル チューニング)	On/Off
AME Ready (オートメモリー)	登録の方法は21 ページをご覧ください。

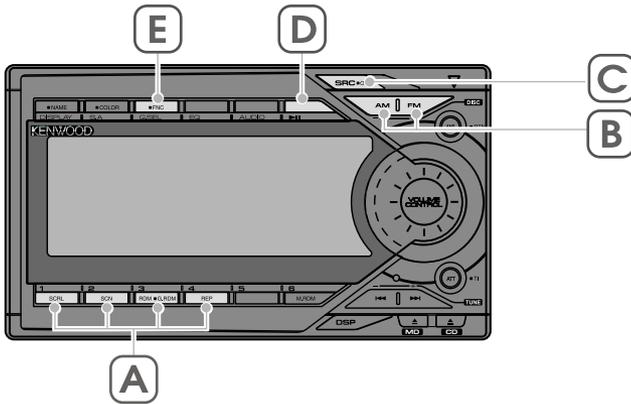
● “MONO” 項目を “On” に設定するとmcインジケータが点灯します。

5 ファンクションセットモードを終了します

D



Function



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

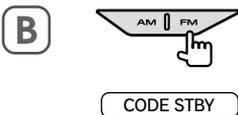


2 ファンクションセットモードにします



“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

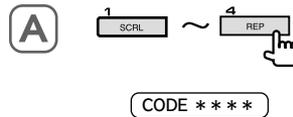


4 セキュリティコード入力を開始します



“CODE WRITE” と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

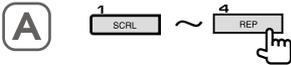
ボタン	1 SCRL	2 SCN	3 FGM # QJCM	4 REP
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します



セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したりしたときの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。盗難防止の手助けとなります。

7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

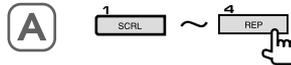
8 セキュリティコードを再登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

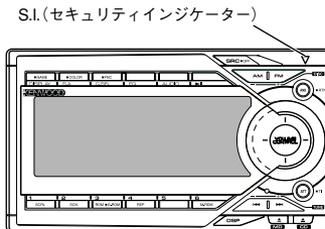


2 セキュリティコードを確認します

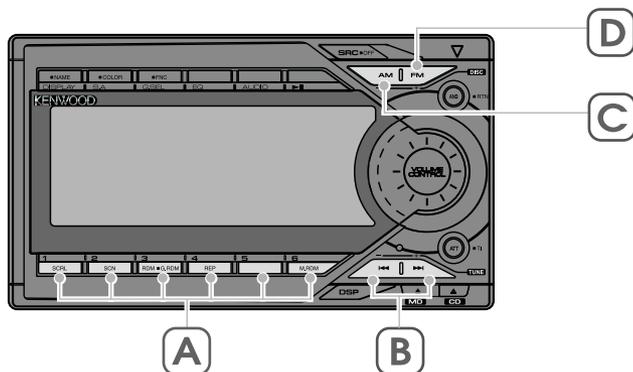


本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると“CODE NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコードの他にS.I.（セキュリティインジケーター）機能を搭載しています。「ファンクションセット」（34ページ）の“S.I.”項目を“On”にしておくと、ACGをオフにしたときにLEDが点滅し、盗難防止インジケーターの代用として使用できます。



TVコントロール



チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

1 バンドを選択します



2 メモリーする放送局を選択します



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



TV1 1ch-1

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション “HDX-700” などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることもできます。

プリセットコール

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



Help ? Operation

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(54ページ)を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

- フェーダー、バランスが片方に寄っている。
- 「ファンクションセット」の“AMP MUTE”項目が“On”になっている。
- フェーダーやバランスを正しく調整してください。
- 「ファンクションセット」の“AMP MUTE”項目を“Off”に設定してください。(34ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルがスライドしている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がかちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(54ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(54ページ)を参照して正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

CD/MD/Changer mode

SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない

ディスクがセットされていない。

プレイするディスクをセットしてください。

ディスク (MD/CD) が入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が 30° を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30° 以下になるように取り付け直ししてください。
- しっかりと取り付け直ししてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

リピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(18ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(16ページ)

CD/MD/Changer mode

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

タイトル/テキスト表示に切り替えても “No Title” / “No Text” と表示される

ディスクタイトル/テキスト、ディスクテキスト/テキストが記録されていない。

ディスクタイトル/テキスト、ディスクテキスト/テキストが記録されたディスクをプレイしてください。

文字がスクロールされない

● 情報文字数が12文字以下のため。

● ディスクネームを表示しているため。

● 表示部に情報文字がすべて表示されている場合は、表示が切り替わったときに1回スクロールされ、それ以後の繰り返しスクロールはされません。

● スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、およびグループタイトルです。

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

● ファイナライズ処理を行っていない。

● CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

● CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

● CD-R/CD-RW対応のCDチェンジャーでプレイしてください。

トラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

テキスト/タイトルが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-N”スイッチがない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

ディスクが取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

MD Group

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“/”が付いている。
- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録し直してください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“/”は付けしないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルがすべて表示されている。

「ファンクションセット」(34ページ)の“MD Group”項目を“On”に設定してください。

聴きたい曲が選択できない

グループに登録されていない。

「ファンクションセット」(34ページ)の“MD Group”項目を“Off”に設定するか、何らかのグループに登録してください。

MDグループ機能が働かない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定している。

「ファンクションセット」(34ページ)の“MD Group”項目を“On”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

「ファンクションセット」の“MD Group”項目の設定を行った。

MDをプレイ中に、「ファンクションセット」(34ページ)の“MD Group”項目の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

Name Set

DNPSができない

- MDをプレイしている。
- マガジンランダムがオンになっている。
- MDにDNPSはできません。
- マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS、DNPS表示にしても “No Name” と表示される

- ステーションネーム、ディスクネームが登録されていない。
- ステーションネーム、ディスクネームを登録してください。(22ページ)

登録したはずのステーションネームが消えた

- 31局目のステーションネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるステーションネームは30局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

- 51枚目のディスクネームを登録した。
- 本機をバッテリーから外したため。
- 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。
- 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

設定したはずのAUXネームが “AUX” と表示される

- 本機をバッテリーから外したため。
- 本機をバッテリーから外すとAUXネームは “AUX” に戻ります。

ディスクネームがまちがって表示される

- 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。
- 識別する方法はありません。

“No Disc” と表示される

- プレーヤーやマガジンにディスクが入っていない。
- ディスクを入れてください。

Display/DSP/Equalizer Control

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。
- 4スピーカーシステムにしてください。
- 「接続」(54ページ)を参照して正しく接続し直してください。
- フェダーやバランスを中央に調整してください。(30ページ)

イコライザーを調整しても効果が現れない

1つの周波数だけを調整している。

調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

スベアナの切り替えやイコライザーカーブの設定ができない

ALL OFFモードになっている。

SRCボタンを押して、オーディオソースに切り替えてからスベアナの切り替え、またはイコライザーカーブの設定をしてください。

DSPまたはイコライザーの効果が得られない

交通情報モードになっている。

交通情報モード中は、自動的にDSP機能またはイコライザー機能が一時解除されます。

Audio Control

オーディオコントロールのノンフェダークロスオーバー調整モードが設定できない

「ファンクションセット」の“Preout”項目が“REAR”に設定されている。

「ファンクションセット」の“Preout”項目を“N-F”に設定してください。(34ページ)

Function Set

CODE STBY項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
⇒ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
⇒データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name** : ●ディスク名前プリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
●ステーション名前プリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが本機では表示できない文字で記録されているMDや、タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
- Please Close** : 操作パネルが開いているときに、操作できないボタンを押した。
⇒パネルを閉めてから操作してください。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-HOLD** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
⇒ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
⇒イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- LOAD (点滅)** : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。
- File Check** : ディスクに収納されているデータのチェック中です。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。
⇒CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。
-  (点滅) : MDプレーヤーが正常に動作していない。
⇒MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

Help ? MD Group

本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。

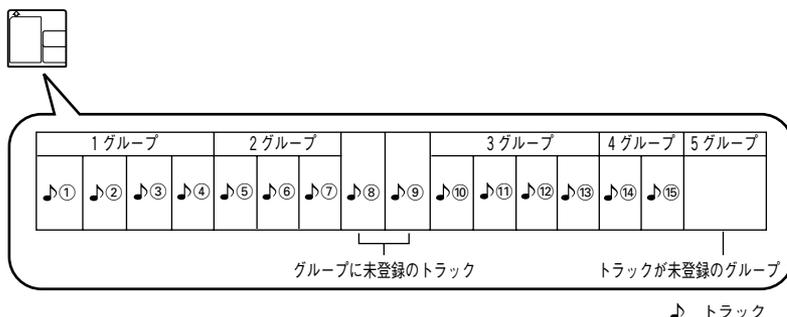
（MDの作成方法はグループ機能を搭載したMDレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください）

最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「ファンクションセット」（34ページ）の“MD Group”項目を“On”に設定しているときに使用できます。



- グループ管理機能を“On”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。
- グループ管理機能を“Off”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

♪⑥ 再生中にトラックサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の トラックNo.		
♪⑥	♪⑥の先頭 → ♪⑤ → ♪④ ...	♪⑦ → ♪⑩ → ♪⑪ ...

♪⑩ 再生中にグループサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の グループNo.		
3グループ	2グループ → 1グループ ...	4グループ → 1グループ ...

♪⑩ 再生中にグループセレクトを行うと・・・

ボタン操作 現在の グループNo.		
3グループ	4グループ	2グループ → 1グループ

AT.SCRL

(オートスクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、およびグループタイトルを選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“On”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

Amp Bass

(アンプバスコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の操作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

Amp Freq

(アンプフリケンシー)

「Amp Bass」で設定した低音増幅量の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AMP MUTE

(アンプミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“On”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ビップ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ビップ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し機能オンにしたときには“ビップビップ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

なお、BEEP音はプリアウトからは出力されません。

CODE STBY

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどのあとに、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

DSP

(Digital Signal Processor)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

HPF-F/HPF-R

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使ってフロント/リア出力から低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF

(ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低音のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。

“THRU”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LX BUS TVモニター

(エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニター（f-LZ77など）やナビゲーションシステム（HDX-700）です。

MD Group

(エムティグループ)

この機能がオンになっていると、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、スキャンプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。

このとき、グループに未登録の曲は再生されません。何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。

MDグループ機能については「Help? MD Group」(48ページ)もご覧ください。

MDLP

(エムティエルピー)

MDの記録方式の規格です。

本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

NAV.ATT

(ナビアットネーター)

カーナビゲーションシステムを接続しているときに、この機能をオンにしていると、カーナビゲーションの音声案内時に、一時オーディオの音を小さくすることができます。

Opening

(オープニング)

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

Preout

(プリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力（ノンフェーダー出力“N-F”）に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないでサブウーファー用の出力に活用できます。

Seek

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

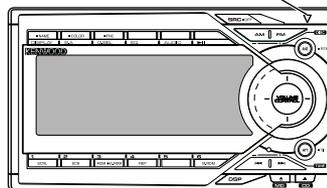
Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

S.I.

(セキュリティインジケーター)

この機能をオンにしておくと、ACCがオフのときにLEDが点滅し、盗難防止警告インジケーターの代用として使用できます。

S.I. (セキュリティインジケーター)



ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など）、マルチメディアプレーヤー（VD-C77）です。

取り付け時のご注意

警告



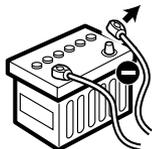
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



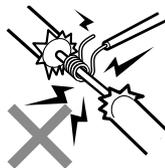
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

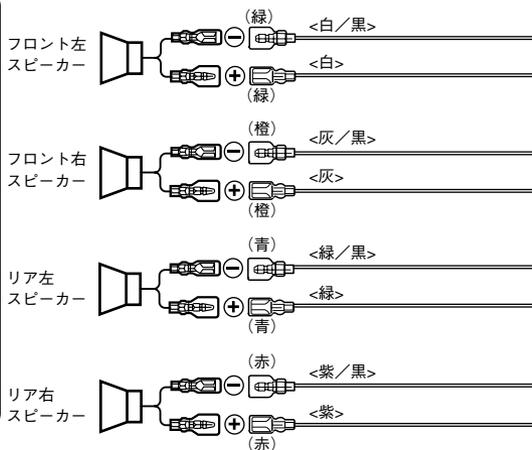
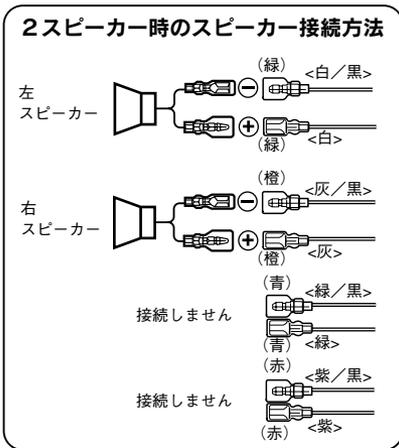
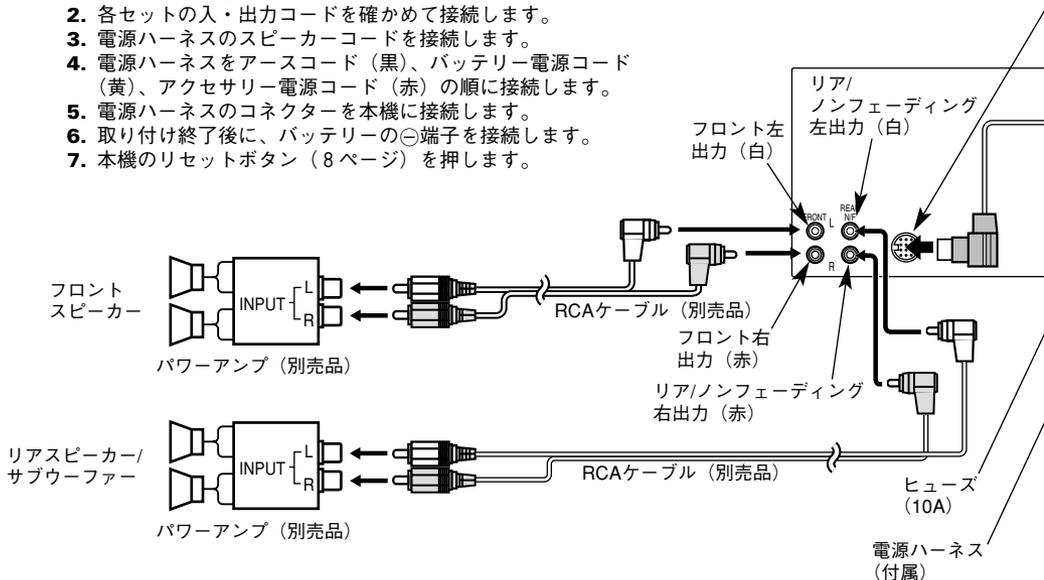
接続



初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤) の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン (8 ページ) を押します。

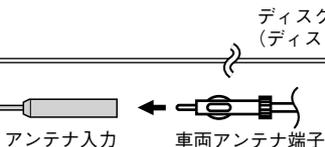
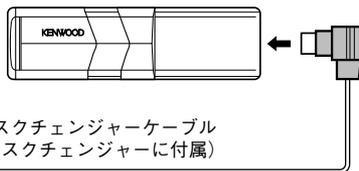


注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

外部ディスクプレーヤー/LX-BUSシステム端子
詳しい接続のしかたは外部ディスクプレーヤー
またはLX BUS接続のカーオーディオに付属の取
扱説明書をご覧ください。

ディスクチェンジャーなど (別売品)



- 別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが
付いている場合は、「N」に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-
S210A付属の取扱説明書で「Dユニット」項目を
参照してください。



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないこ
とを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数)
の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒ
ューズを使用すると、火災の原因になります。



注意

- ラインミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続す
ると誤動作する場合があります。誤動作する場合は「ファンクションセット」(34ページ)
の「NAV.ATT」項目をオフに設定してください。
- このコードを接続しない場合は、車両のシャーシ部分など、バッテリーのマイナス側に
導通している場所に、端子が接触しないように注意してください。シャーシ部分などに
接触すると、アッテネーター機能 (音が小さくなる) の誤動作が起こる場合があります。

アンテナコントロール (青) ANT CONT

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテ
ナのプースターアップの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール (青/白) P.CONT

別売品のパワーアンプのパワーコントロール端子へ接続して
ください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてく
ださい。

ラインミュート入力 (茶) LINE MUTE

ケンウッド製ナビゲーションシステムのラインミュート端子
またはミュート端子に接続してください。

イルミネーション (橙/白) ILLUMI

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

外部アンプコントロール
(桃/黒) EXT. CONT.

別売品パワーアンプの外部アンプコントロール
("EXT.AMP.CONT.") 端子に接続してください。接続しない
場合はキャップを付けたままにしてください。

アクセサリ電源 (赤) ACC
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続
してください。

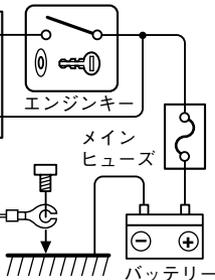
アクセサリ
電源

バッテリー電源

バッテリー電源 (黄) BATT
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーの
オン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源
へ接続してください。

アース (黒)

車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなど
の一部) へ接続してください。



取り付け

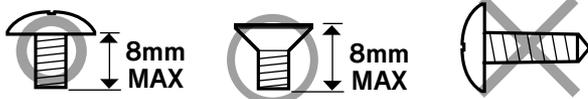
付属のトラスネジ (M5 × 6 mm) またはサラネジ (M5 × 7 mm) を6本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



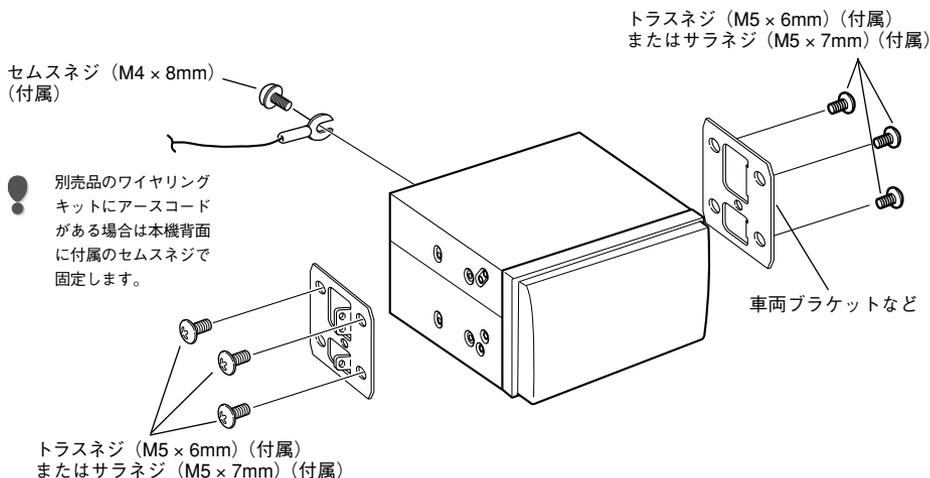
- **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。

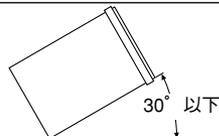
なお、取り付けネジはトラスネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



- **取り付け前にCDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/ イジェクトを行ってください。**



- **本機の取り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。**
- **操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。**



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ?Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:30 dB)
S/N 50 dB感度
周波数特性 (±3.0 dB)
S/N比
選択度 (±400 kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
30 Hz~15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
28 dB μ

MDプレーヤー部

レーザーダイオード
デジタルフィルター(D/A)
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高調波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs($\lambda=780$ nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
400~900 rpm (線速度一定)
測定限界以下
20 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
90 dB (1 kHz)
90 dB
85 dB

CDプレーヤー部

レーザーダイオード
デジタルフィルター(D/A)
D/Aコンバーター
回転数(CD-DA)
ワウ & フラッター
周波数特性
高調波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs($\lambda=780$ nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
200~500 rpm (線速度一定)
測定限界以下
10 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
100 dB (1 kHz)
95 dB
85 dB

オーディオ部

最大出力
定格出力
プリアウトレベル (FM)
プリアウトインピーダンス
クロスオーバー High Pass Filter周波数
(フロント/リア独立)
クロスオーバー Low Pass Filter周波数
(位相)

50 W \times 4
30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
1.8 V/10 k Ω
600 Ω 以下
40/60/80/100/120/150/180/220 (Hz)
50/80/120 (Hz)
Normal/Reverse

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター & D/Aコンバーター
イコライザー
イコライザー中心周波数
可変範囲

3次 $\Delta\Sigma$ 方式18bit128倍オーバーサンプリング
7バンド
60/160/400/1k/2k/6k/16k (Hz)
±12 dB (±6 STEP)

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V (11~16 V)
10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)
質量 (重さ)

178 \times 100 \times 155 mm
2.8 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ (M5 \times 6mm)
サラネジ (M5 \times 7mm)
セムスネジ (M4 \times 8mm)

1本
6本
6本
1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。